

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	施設全体で年2回の防災訓練やホーム独自の訓練も毎月実施しているが、消防団の参加はなく、現実的な協力体制が不十分である。	火災や地震・水害などの災害時に、昼夜を問わず、地域消防団等と協力して、利用者様が安全に避難できる具体的な避難誘導マニュアルを作成し、年2回訓練を実施することができる。	①具体的な避難誘導マニュアルを作成する。ご近所さんや消防団の方に、どんな協力がしてもらえるのか話し合い記載する。 ②運営推進会議に、地域の消防団の方に参加してもらい、施設の構造やどんな利用者様がいるのかを知ってもらう。 ③近所の方に施設を知ってもらうため、日頃から施設へ遊びに来てもらえるように広報活動をする。(回覧板などで、活動内容や行事予定・案内などを配布する。) ④年2回、地域住民や消防団参加の避難訓練を実施する。	6ヶ月
2	5	行政との関係を生かしたサービスの向上が不十分である。	積極的に、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝え、行政と連携したサービスが提供できるように情報交換していく。	①運営推進会議を利用し、社会資源の再確認をしていく。 ②社会資源の活用が考えられる事例については、積極的に相談していく。 ③他の事業所の事例など情報をもらい、地域における課題の抽出や解決に向けた取り組みなどの提案につなげていく。	6ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。